

# JICA 草の根技術協力事業「湖南省洞庭湖流域農村水環境改善プロジェクト」 における最終の専門家派遣を実施しました

掲載日：2019年 1月 30日

平成28年11月に「湖南省洞庭湖流域農村水環境改善プロジェクト」を開始して以来、6回の専門家派遣と4回の訪日研修を実施してきましたが、いよいよ本プロジェクトも今年6月に終了します。

これまで湖南省農村部における生活污水対策を推進するため、化糞池などの生活污水处理施設の使用・維持管理マニュアルの作成、住民による環境保全活動などを支援してきました。

また、住民の環境意識の向上を図るため、環境教育リーダーの養成や農村向け環境教育の実施などの取り組みを進めてきました。

今回、平成30年12月12日から22日の間、最終の専門家派遣を実施し、中間報告会等でこれまでの取り組みを評価するとともに、各部門の関係者とプロジェクトの最終成果を見据えた今後の活動について協議しました。

## 活動内容

三眼塘村、光明村で取り組んだ環境保全活動や環境教育活動などが報告されました。



中間報告会の状況

現地では、7月に滋賀県で実施した訪日研修の成果を生かし、村委員会と住民ボランティアによる環境保全活動が活発に行われていました。



化糞池（生活污水の嫌気性処理槽）の点検活動



ダム湖周辺の清掃活動

本プロジェクトの一環として、小学生を対象に水環境保護をテーマとした「環境ポスターコンクール」が実施され、それに参加した小学生や先生と面談しました。

その際、校長先生から「コンクールを通じて子供たちの行動や意識に変化があらわれた」とのコメントをいただきました。



「環境ポスターコンクール」表彰式の様子



「環境ポスターコンクール」で入賞した作品の一部

また、村人が地域の環境課題を洗い出し、それを解決する方法を見つける参加型の研修会が実施されました。

研修会は、アイスブレイク（研修の最初に場の緊張を取り除く手法）、ブレインストーミングなど訪日研修で学んだ手法を用い、終始なごやかで楽しい雰囲気のもとで行われました。

私たちが研修に参加し、日本の事例を紹介しながら、一緒に環境問題について考え、意見交換しました。



研修風景（光明村）



研修発表（三眼塘村）